

事業の基礎情報

実施主体	鮫川村
事業実施地域	福島県鮫川村
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	医療・介護・福祉 ・ 商業・農業 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	鮫川村地域公共交通協議会、鮫川村、鮫川運送株式会社、社会福祉法人 鮫川福祉会鮫川たんぼぼの家（以下「たんぼぼの家」という）、トヨタ・コニック・プロ株式会社、株式会社ケー・シー・エス、福島交通株式会社
運行形態	デマンド交通
運行主体	鮫川運送株式会社

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

令和5年11月から村内全域をカバーし、自宅前から乗車できるドア・ツー・ドア方式のデマンド交通の実証運行を開始しました。隣町の塙厚生病院、磐城塙駅にも乗り入れております。高齢者の移動を支えるなどの効果を発現していますが、以下の課題があがりました。

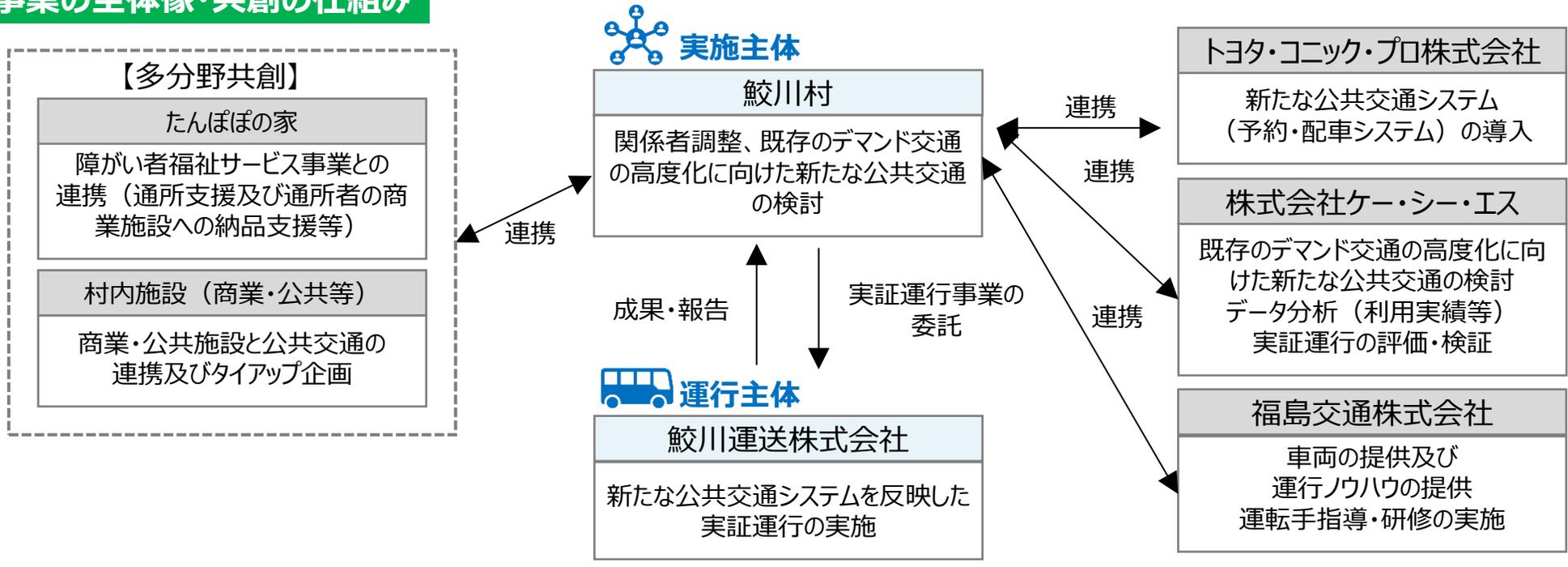
○電話予約に対応するためオペレーターを確保することが必要である。

○利用の2時間前までの予約、使い方がわからないなどの理由で、登録はするものの、1度も利用していない村民が多数伺える。などこれらの課題に対応するため、デマンド交通の配車システムを導入し、運行事業者や村のリソースを有効的に活用するとともに、多分野との連携を強化することで、村民の日常生活を支えつつ、交流人口の増加、地域活性化の寄与につなげていくことが必要となっています。

（事業の概要）

- ①現在のデマンド交通実証運行に加えて、障がい福祉サービス事業と連携して新たな地域公共交通を構築。【他分野共創】
- ②運行・予約システムのデジタル化【他分野共創】
- ③走るAEDとして過疎の村における村民の安心を確保【他分野共創】
- ④村内中心部の周遊促進及び外出機会の増加に向けた新たな地域公共交通システムの導入【他分野共創】

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

既存のデマンド交通を高度化し、他分野事業と連携・協働して、高齢者や障がい者などの交通弱者の移動支援及び通院、買物、通所と通所者の納品（※）の仕組みを構築することで、送迎に過度に頼らずに日常生活を送れる環境を整備する。将来的には、高齢者や障がい者だけでなく、若年層や子育て世代など様々な世代にも利用してもらえる、利用しやすい公共交通の実現に向けた検討を行う。

※たんぽぽの家では通所者が作った食品（野菜、ジャム等）や食品加工品（うどん等）を手まめ館（直売所）に納品している。

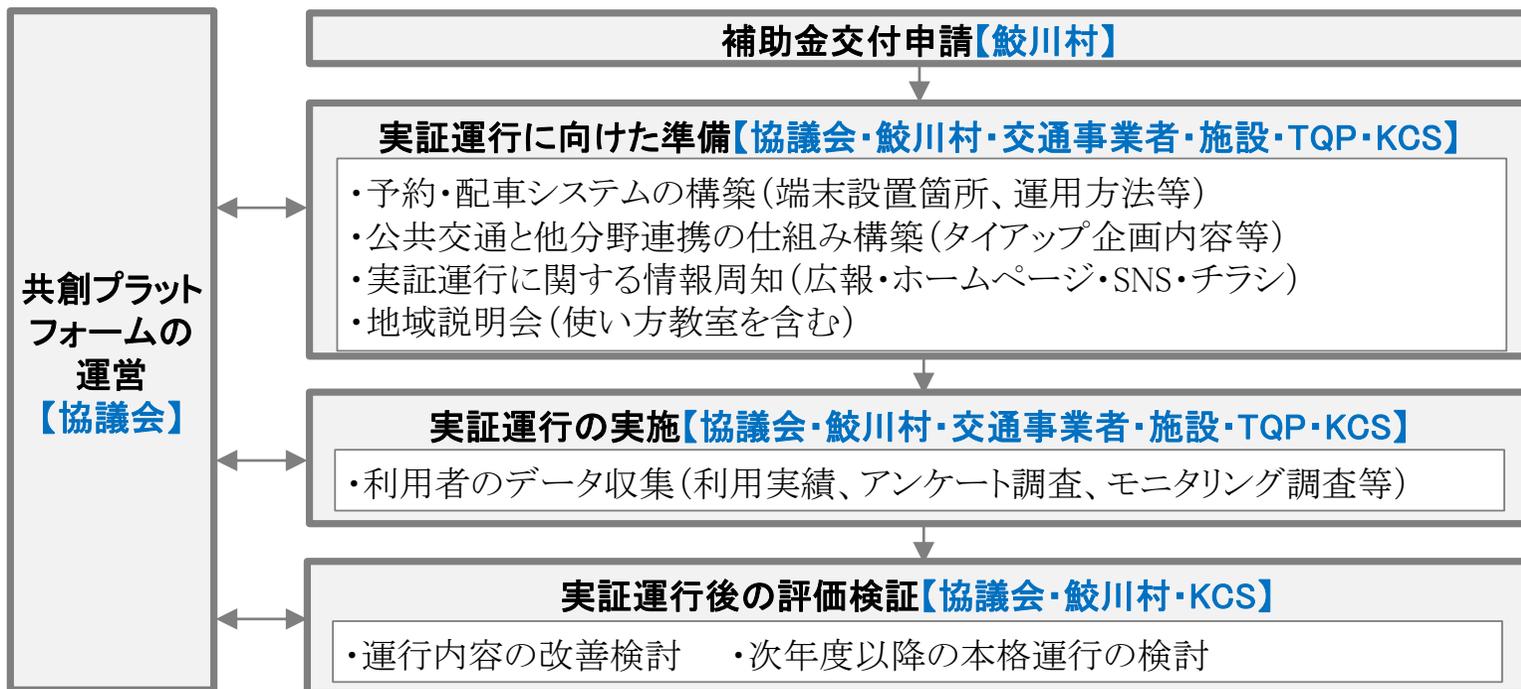
（実証事業により見込まれる効果）

既存のデマンド交通の高度化によるデマンド交通の登録者数及び利用者数の増加、利用者の利用率の増加、村民及び利用者の満足度の向上、施設来訪者の増加など。また、移動の自由の確保に伴う、障がい者の社会参加及び健常者と障がい者の共存に向けた仕組みの構築など。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

- 実証運行の計画・準備
: 5月～8月末
- 実証運行の実施
: 9月～2月末
(6ヶ月間の運行を予定)
- 実証運行の評価検証
: 1月～2月末



(補助事業実施後の予定)

本事業を通じて、予約・配車システムの導入効果や課題を把握しつつ、策定している鮫川村地域公共交通計画やデマンド交通運行計画のブラッシュアップを行い、次年度以降の継続的な事業実施を検討する。

また、予約・配車システムを導入したデマンド交通が移動手段確保という単一の目的の交通サービスではなく、住みやすいまちづくりの基盤となり、村民や交通事業者の新たな需要開拓、他分野連携による定住促進や参加型社会の実現による交流人口の拡大、鮫川村の公共交通不便地域の解消など、様々な主体にとっての意義・メリットと、今後の地域公共交通の運行に関する負担・支援のあり方を検討する。